

ゆずり葉

第95号

平成29年12月21日

■発行：青少年育成本太小区会 ■発行者：金子 義人

■事務局：浦和区本太 2-26-25
さいたま市立本太小学校内 TEL 882-3007

今号より、地域の皆様には回覧でご覧いただくことになりました。何卒ご了解いただきますよう、お願い申し上げます。尚、本太小学校にお子様がお子様が在籍もしくは来年度入学予定のご家庭には、学校を通じて配布いたします。



本太中学ボランティア

ドッジボール大会でおなじみの本中生が、初開催の本太ふれあいフェスティバルでも大活躍してくれました。小学生にとっては一番近い「上の世代」。少しだけ怖いけど(?) 勉強に部活、地域活動に頑張っている、頼もしくカッコいい先輩なのです。



恒例行事と新企画と



青少年育成本太小区会

会長 金子 義人

今年度も地域の皆様のご協力を賜りながら、つづがなく各行事を行い、残すところも後わずかととなりました。

今年度はいつになく雨が多く、思い通りにいかないこともあり、残念でしたが、新しい試みもありました。

例年本太児童公園で開催していた緑陰おたのしみ会を、今年は「本太ふれあいフェスティバル」に変更し、学校の体育館をお借りして開催することになりました。

床にシートを敷き詰め、恒例のかき氷・輪投げ・水ヨーヨーなどに加え、新たにフランクフルトの提供も行いました。子どもたちの参加は六五〇名に上り、大成功に終わりました。中学生ボランティアを含む、一四〇名のスタッフに感謝申し上げます。

長い時間をかけて準備したドッジボールは、雨のため中止になりました。携わった人たちの苦労も水の泡となってしまい、楽しみにしてくれていた子どもたちからは落胆の声も聞こえ、残念でした。

育成会が運営をお手伝いしているグラウンドゴルフは晴れ間の下、十組で和やかに行われました。ベテランはスコアが良く、初心者もそれなりの結果を出して、喜ぶ皆さんの顔が印象に残りました。

晴天に恵まれた研修旅行は千葉方面でした。渋滞はともかく、事故もなく実施できたことを喜んでおります。

今年度、残る行事は新年懇親会ですが、ご協力いただいた皆様と笑顔で一年間を振り返り、語らうことを楽しみにしております。

青少年育成本太小地区会の皆様には、日頃より子どもたちの安全、そして、健全育成に多大な御協力をいただき、感謝申し上げます。青少年育成本太小地区会では、本太ふれあいフェスティバルをはじめ、子ども会対抗ドッジボール大会、グラウンドゴルフ大会など積極的によりよい地域社会をつくらせていくための取組を行なっています。子どもたちはもちろん、地域の皆様も、触れ合い、そして、知り合い、仲良くなって、今まで仲良しだった人もさらに仲良しになって、益々本太小地区が発展していくものと実感しております。中学生も、地域社会の一員として、こういった取組に積極的に



本太中学校長
五十嵐 友二

みんな仲良し本太小地区

参加・参画していくことが大切であると考えます。私は、「ヘッドワーク・フットワーク・ネットワーク・チームワーク・ハートワーク」の五つのワークと「Chance・Challenge・Change」の三つのCを大切にしながら学校運営の改善・充実に取り組んでおります。特に、子どもたちや保護者、そして、地域の方々の立場に立つという心掛けである「ハートワーク」を一層重視してまいります。引き続き地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いたします。

※来年度七十周年を迎える本太中学校長五十嵐先生にご寄稿いただきました。保護者の中には、昔、五十嵐先生に数学を教わった方も多いのではないでしょうか。お人柄が伝わってくる素敵な似顔絵は、以前同僚だった図工の先生が描いてくださったそうです。

水ヨーヨー

途中で数が足りなくなると急遽追加分を作る事態に



かき氷

長蛇の列を、手慣れた家庭委員会が捌きます



シャボン玉 (byぶんぶん文庫)



麦茶

本太ふれあいフェスティバル

7月20日(木)
本太小学校体育館



本太児童公園で例年開催してきた緑陰おたのしみ会がリニューアル。名称も「本太ふれあいフェスティバル」に変わりました。緑陰は主に家庭委員会と本部で運営していましたが、今回は規模が広がった上に新企画もあります。そこで、経験豊富な家庭委員会がかき氷と麦茶を担当、補導と広報で水ヨーヨー、輪投げは運営、新企画のフランクフルトは本部と分担を決め、初の「オール育成会」体制で臨みました。また、緑陰同様、ぶんぶん文庫も工作とシャボン玉で参加してくださいました。PTA・子ども会のお手伝いに加え、本太中学からも大勢のボランティアが駆けつけてくれました。

集まった子どもたちは、見慣れている体育館の、いつもと違う光景に大興奮。人がひしめく会場内を、暑さをものともせず駆け巡り、歓声を上げていました。「楽しかった」の声に、くたくたの大人たちも思わず笑顔に。ボランティアの中学生からも、「私たちが小学生の頃にやってほしかったなあ」という声が届いています。

初めての企画で、当初はどうなることかと心配していましたが、各方面の協力で成功させることができました。

ドッジボール大会 ルール変更のお知らせ

10月21日(土)に開催予定だった、恒例のドッジボール大会は、雨天のため、中止となりました。

本年度より、保護者からのご意見をふまえ、試合のルールを一部変更することになりました。参加児童には開会式で説明を行う予定でしたが、大会が中止になりましたので、追加ルールを掲載いたします。来年以降、適用されますのでご承知おきください。

ファイブパス

パスは4回までとし、5回目に攻撃をしなかった場合は、相手の内野ボールとなる。数的優位に立つチームが、無為なパス回しで逃げ切ることを防ぐルールです。また、不必要に長くボールを持ったまま時間切れを図る場合も、遅延行為として相手チームのボールになります。

※日本ドッジボール協会公式ルールに基づく。

審判について

主審はピブスを着用する。試合中の予備ボールは副審が管理する。

今年の大会日程は本太中学校の学校公開と重なり、ボランティアを頼めなかったため、小学校の「親父の会」に協力を依頼していました。スポーツの大会で、お父さん方にご協力いただけるのは頼もしい限りです。

育成会では、保護者の皆様に「子ども育成委員」としてお手伝いをお願いしていますが、どの行事でも参加して下さるのはほとんどお母さんというのが実情です。しかし、子ども会＝お母さんという規定はありません。お父さん方にもぜひ積極的にご参加いただけますよう、お待ちしております。



フランクフルト

初のフランクフルトは大人気。丹野商店さん、鉄板準備にご協力ありがとうございました。

受付 入場するのにも大行列が...

工作コーナー (byぶんぶん文庫)

輪投げ

平成29年度 定期総会

五月二十七日(土)、本太公民館において、定期総会が開催されました。

駒場自治会長の長瀬清重氏を議長に選出し、二十八年度活動報告・会計報告、二十九年度事業計画・予算案、会則の変更について審議が行われ、全ての議案が承認されました。

【会則一部変更】

・アドバイザーの役職を削除します。

・本会の会議規定を明確にし、総会の議事は出席者の三分の二以上の賛成により決することを明記しました。

平成29年度 主な活動計画

- ・総会・歓送迎会
- ・少年団・地域団体への助成
- ・表札訪問期間下校パトロール
- ・本太ふれあいフェスティバル
- ・本太セーフティネットワーク
- ・スクールサポートネットワーク参加
- ・夏季青少年健全育成巡回活動
- ・浦和祭り・十二日まち巡回活動
- ・子ども会対抗ドッジボール大会
- ・研修旅行
- ・新年懇親会
- ・卒業生・新入生お祝い品贈呈
- ・定例巡回活動(毎月第三金曜日)
- ・青少年育成市民会議、区民会議参加
- ・広報「ゆずり葉」制作配付
- ☆右記に伴う諸会議、準備作業
- ☆関係団体の連絡会・講演会等に協力

平成29年度予算書

収入の部		単位	円	支出の部		単位	円
会費	231,900			運営費	365,000		
自治会助成金	543,000			助成行事費			
市助成金	200,300			ぶんぶん文庫	50,000		
東部地区社協	20,000			地域団体	70,000		
本太公民館	10,000			地域行事	400,000		
雑収入	1,000			活動費	360,000		
繰越金	299,428			予備費	60,628		
合計	1,305,628			合計	1,305,628		

さいたま市青少年育成推進大会
 三月四日(土) 産業文化センター
 ターで開催された青少年育成推進大会において
 中江優文子さん(二十年功労)
 松澤 典子さん(十年功労)
 奥山 恵子さん(十年功労)
 中野 博之さん(五年功労)
 が表彰されました。

《地域行事協力》

育成会行事以外でも、様々な地域行事に協力しました。

●多世代交流ふれあい会

三月四日(土) 本太公民館
 主催 浦和区本太元町地区
 多世代交流実行委員会

●グラウンドゴルフ大会

十一月十一日(土) 本太小校庭



10チームで競った大会
 優勝は元町3丁目チーム

夏季青少年健全育成巡回活動

今年も、七月二十一日～八月二十五日までの夏休み期間に、巡回活動を実施いたしました。

雨が多かったため、例年に比べ日数は少なめでしたが、補導委員会を中心に、子ども会、本太小安全委員会、本太中校外指導委員会上に多数の参加を得ました。

延べ参加人数一三名、二十一回の活動を、さいたま市に報告いたしました。

功労賞受賞

十一月二十日(月)

青少年育成埼玉県民会議表彰式において、金子義人会長が、青少年育成功労賞を受賞しました。

研修旅行

十一月九日(木)

君津・館山方面・三十名参加
 日本ミツバチで蜂蜜を製造している工房を見学しました。



工房の方に教わりながら、手回しの遠心分離機で蜂蜜を取り出します。

●公民館ふれあい広場(文化祭)

十月二十七日(金)～二十九日(日)
 主催 公民館文化祭実行委員会